

すずしろ

～開拓・発展・完成～

6月 第5号

平成26年6月9日

開進第四中学校だより
校長 新村 紀昭

学習は軌道に乗ったか！！

定期テスト今週末に迫る

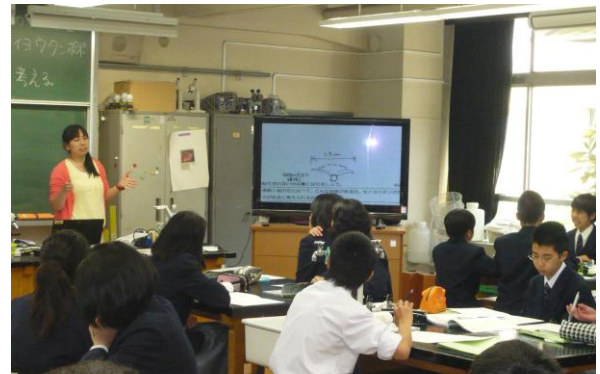
6月に入り、突然の梅雨入り宣言、運動会の時期が暑かただけに、体調管理には気をつけたいものです。

さて、本校では今週末に第1回定期テストが予定されています。二階の校長室の前の廊下では、3年生らしい生徒同士が、数学の問題をどこまでやったか、英語のプリントが…など、様々な会話を交わして通り過ぎて行きます。

テスト2週間前、どの学年もテスト範囲の発表とともに「学習スケジュール表」を配布しました。この「学習スケジュール表」は、各教科のテスト対策が計画的に進められるよう、1日単位で時間や学習内容が書ける表です。いわば家庭学習の習慣化を図るための手段でもあるわけです。

しかし実際の活用状況を担任に聞くと、スケジュール表をうまく活用できる生徒とできない生徒の二極化があるようです。

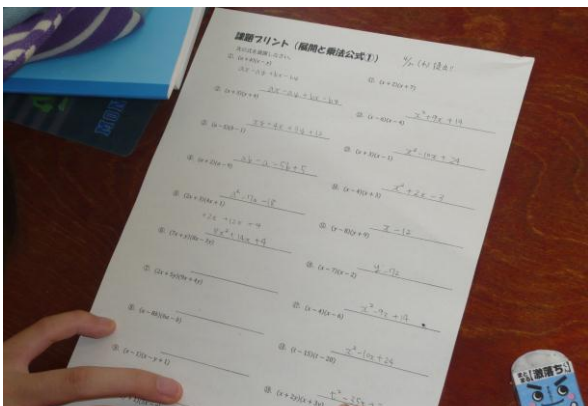
では、継続できる人とできない人、その差はどこにあるのでしょうか。



文部科学省の全国学力学習状況調査の中で、「朝食を毎日食べている」生徒の方が正答率が高いとマスコミなどで報じられ一時話題になりましたが、重要なのは「朝食」ではなくその背景にある就寝・起床時間など生活のリズムであることは言うまでもありません。まずは基本的な生活リズムを決めて習慣化すること、時間の管理がポイントです。

また、家庭での学習習慣ですが、日常の授業観察での中で、国数英では必ずと言っていいほど、授業の最初に小テストを実施しています。宿題はもちろんです、これらの漢字、計算、英単語等の小テストの予習は必ずやるといった日常の積み重ねが重要だと考えます。さらに興味深いのは、家庭における学習習慣には、家庭でのコミュニケーションが影響していることもわかったと報告していることです。

子どもの学力向上につきましては、何といっても家庭と学校の連携が不可欠です。定期テストは単なる評価資料ではなく、個々の生徒の学習状況、理解度を知るための資料でも



あります。結果の数字に一喜一憂するのだけでなく、日常の生活リズム、生活習慣といったことについて、また学習塾なども含めた家庭での学習習慣について、話し合っていたいただき、生活を見直す一助にいただければと

考えます。また、ご相談等があればいつでも学校にご連絡ください。

参考：「19・20年度 全国学力・学習状況調査追加分析報告書」国立教育施策研究所

人権啓発講演会 VTR「福島風の風評被害」・講演「人権と憲法」

講師 獨協医科大学特任特任教授 角藤 和久 氏

去る5月28日（水）本校体育館で、人権啓発講演会を実施しました。冒頭のVTRは津波による原発事故の影響で起きた人体への放射能汚染という風評被害をテーマにしたもので、中学校を舞台としていたので身近な人権問題としてとらえることができました。

講演会では資料に基づき憲法に保障されている「基本的人権」やその「基本的人権」を将来にわたり守り続けることの重要性について指導していただきました。

定期テスト後、様々な人権課題をテーマとして選び、全生徒が人権作文に取り組みます。



スケアード・ストレイト方式による自転車安全教室

去る6月6日（金）本校体育館で自転車安全教室が実施されました。

表題のスケアード・ストレイト方式ですが、「受講者に意図的に恐れを抱かせ、社会通念上好ましくない行為をさせないようにする」という教育方法です。

実際にスタントマンが意図的に交通事故を再現し、その場の違法行為の内容や予防策について「自転車安全利用五則」などのルールに沿って生徒に考えさせたり答えさせたりしました。後半は、練馬警察署の方から自転車運転が加害者となる事例についてDV活用しながら指導していただきました。



自転車安全利用五則

ご家庭でも確認してください。

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
 - ・ 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - ・ 夜間はライトを点灯
 - ・ 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
5. 子どもはヘルメットを着用



本校のホームページでは、随時、行事や学校生活の様子を公開しています。併せてご覧ください。